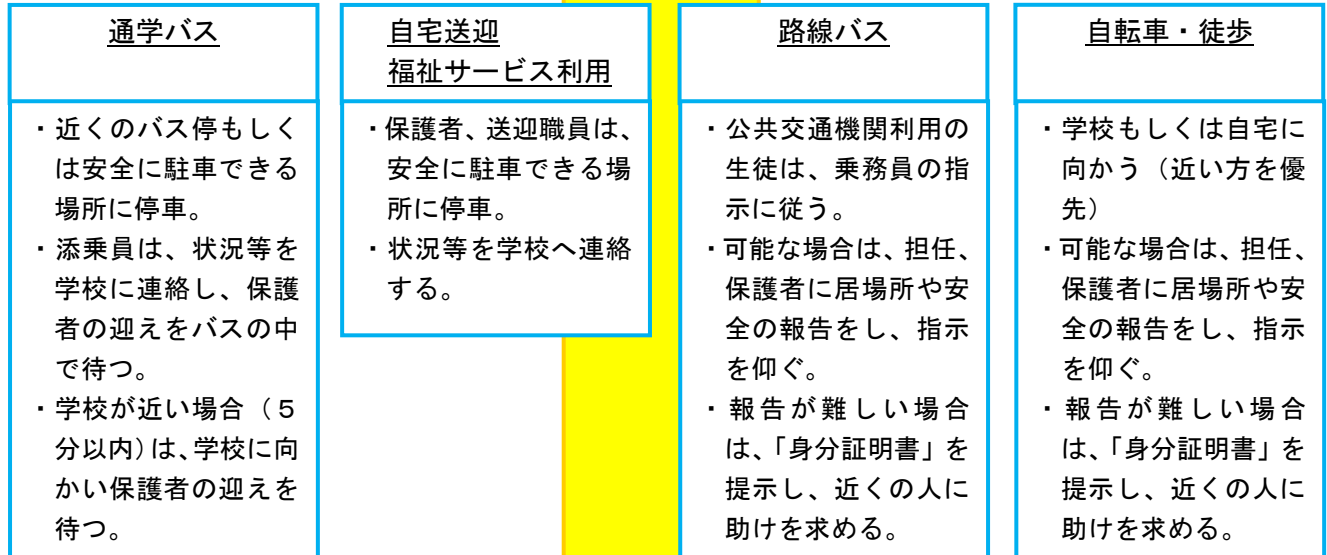


自然災害時の対応（登下校中）について

家庭保管用

1 地震発生時（震度5強以上）の対応について

【安否確認】「すぐーる」の配信



【回答】「すぐーる」への返信

□ 「不明」の場合

- ・ 担任は、児童生徒及び保護者と連絡を取る。
- ・ 担当職員は避難先へ向かう。

【児童生徒の搜索】

※事前に、登下校中に危機事態が発生した場合の避難先を決めておき、担任と共有しておく。

□ 「自宅」「保護者と一緒に」の場合

家庭では、身の安全を確保する。

□ 「学校に登校」の場合

学校では、安全な場所に避難する。

学校から「すぐーる」の配信

引き渡し

2 荒天時（豪雨、洪水、暴風等）の対応について

（1）登下校中に天候が急変した場合には、地震発生時の対応と同様とする。

家族が落ち着いて行動できるよう、日頃から話し合い、連絡方法を共有しておきましょう

通学路で危機事態が発生した場合

- ☐ お子様との連絡の取り方（複数手段）
- ☐ 自宅・学校のどちらに向かうか
（自宅に保護者がいて、被災地点が自宅に近ければ自宅に戻る。保護者不在の場合や学校に近い場合には学校へ行くなど）
- ☐ 通学路上の避難先を決めておく
（公民館や学校などの公共施設、子ども 110 番の家や商店の場所等を実際に歩いて確認）

保護者と一緒のとき

- ☐ 家の中でどこが一番安全か
- ☐ 避難場所、避難経路はどこか
- ☐ 非常持ち出し袋はどこに置いてあるか

自宅で保護者不在時

- ☐ 自分の身を守る行動の取り方

